

~~30AS APPROVED~~

NO. 200-034 DATE 2016年8月5日

(SUPERSEDES NO.)

REV. XXXXXX DATE XXXXXXXX

(SUPERSEDES NO.)

REASON XXXXXXXX

運航者に対する燃量計指示差の明確化及びエンジン始動手順訂正に伴う
飛行規程の一部改訂について

燃料開閉弁を装備した機体の運航者に対する燃量計指示差の明確化及びエンジン始動手順訂正（180型のみ適用）の型式設計変更について、航空局の承認（第20-17号及び第22-14号（H28.5.30））を受けました。これに伴い、飛行規程の内容に一部変更が生じたので、その改訂内容をお知らせいたします。

下記要領に従い該当頁を差換えて使用して下さい。

マニュアルNo.	本紙頁	飛行規程の頁
FA200-001	2～6	I、III、54、56、57
FA200-002	7～13	飛行規程承認書、I、III、17、20、21、23



富士重工式 FA-200-160 型
平成 28 年 5 月 30 日

頁 一 覧 表

製造番号 FA-200-13 以降に適用

頁	年 月 日		頁	年 月 日		頁	年 月 日	
I	H28. 5. 30	対象外	22A	H25. 6. 3	対象外	52	H23. 7. 22	対象外
II	H25. 6. 3	対象外	23	H23. 7. 22	対象外	53	H23. 7. 22	対象外
III	H28. 5. 30	対象外	24	H23. 7. 22	対象外	54	H28. 5. 30	対象外
IV	H23. 7. 22	対象外	25	H23. 7. 22	対象外	55	H23. 7. 22	対象外
V	H23. 7. 22	対象外	26	H23. 7. 22	対象外	56	H28. 5. 30	対象外
VI	H23. 7. 22	対象外	27	H23. 7. 22	対象外	57	H28. 5. 30	対象外
			28	H23. 7. 22	対象外	58	H23. 7. 22	対象外
			29	H23. 7. 22	対象外	59	H23. 7. 22	対象外
1	H23. 7. 22		30	H23. 7. 22	対象外	60	H23. 7. 22	対象外
2	H23. 7. 22		31	H23. 7. 22	対象外	61	H23. 7. 22	対象外
3	H23. 7. 22		32	H23. 7. 22	対象外	62	H23. 7. 22	対象外
4	H23. 7. 22		33	H23. 7. 22	対象外	63	H23. 7. 22	対象外
5	H23. 7. 22		34	H23. 7. 22	対象外	64	H23. 7. 22	対象外
6	H23. 7. 22		35	H23. 7. 22	対象外	65	H23. 7. 22	対象外
7	H23. 7. 22		36	H23. 7. 22	対象外	66	H23. 7. 22	対象外
8	H23. 7. 22		37	H23. 7. 22	対象外	67	H23. 7. 22	対象外
9	H23. 7. 22		38	H23. 7. 22	対象外	68	H23. 7. 22	対象外
10	H23. 7. 22		39	H23. 7. 22	対象外	69	H23. 7. 22	対象外
11	H23. 7. 22		40	H23. 7. 22	対象外	70	H23. 7. 22	対象外
12	H23. 7. 22	対象外	41	H23. 7. 22	対象外	71	H23. 7. 22	対象外
13	H23. 7. 22	対象外	42	H23. 7. 22	対象外	72	H23. 7. 22	対象外
14	H23. 7. 22	対象外	43	H23. 7. 22	対象外	73	H23. 7. 22	対象外
15	H23. 7. 22	対象外	44	H23. 7. 22	対象外	74	H23. 7. 22	対象外
16	H23. 7. 22	対象外	45	H23. 7. 22	対象外	75	H23. 7. 22	対象外
17	H23. 7. 22	対象外	46	H23. 7. 22	対象外			
18	H23. 7. 22	対象外	47	H23. 7. 22	対象外			
19	H23. 7. 22	対象外	48	H23. 7. 22	対象外			
20	H23. 7. 22	対象外	49	H23. 7. 22	対象外			
21	H23. 7. 22	対象外	50	H23. 7. 22	対象外			
22	H25. 6. 3	対象外	51	H23. 7. 22	対象外			



富士重工式 FA-200-160 型
平成 28 年 5 月 30 日

変更状況表 (続き)
製造番号 FA-200-13 以降に適用

改訂番号	日付	改訂頁	内容
改訂 18	H23. 7. 22	全頁	承認番号 第 20-14-A5 号による。 (1) サーキュラーNo. 1-001 (国空機第 723 号 H20. 10. 31 付) に基づく体裁変更 (2) 用語の適正化 (3) 誤記及び漏記の訂正
改訂 19	H25. 6. 3	I、II、III、22、22A	型式証明番号 第 20-16 号による。 (1) オルタネーター追加
改訂 20	H28. 5. 30	I、III、54、56、57	型式証明番号 第 20-17 号による。 (1) 燃料片減りに関する注意明確化



1-9 巡航

巡航速度は機体の重量、飛行高度、大気温度、飛行距離及びパワー・セッティングにより選択することができる。

普通、使用される巡航出力の範囲は 50~75 % である。

巡航性能の詳細については表 6-1~6-4 (P37~40) を参照のこと。

ミクスチュア・レバーの使用は、燃料消費量に大きく影響する。

5000 ft 以上の高度で 75 % 以下の出力による飛行を行なう場合には、“LEAN” に調整する。但し、出力を増加する場合には、ミクスチュア・レバーを一度“RICH”に戻すこと。

ミクスチュア・レバーの使用により、最良出力を得るには、ミクスチュア・レバーを徐々に引き、エンジン回転数がわずかに上昇して、次に下り始めたら、最大回転の得られた位置までレバーを戻す。

同様な方法で最も燃費の少ないレバー位置を得るには、ミクスチュア・レバーを徐々に引き、エンジン運転がラフになったら、そのラフが無くなるまでレバーを戻す。

キャブレターの凍結により、エンジンの息つきが生じたと思われる時は、キャブ・ヒート・ノブを必ず一杯に引き、凍結の無くなった時には、再び一杯に押し込んだ位置でロックする。凍結の程度に従って、上記手順を繰り返すことが必要であり、決して中間位置で使用してはならない。

燃料開閉弁を装備した機体の場合、巡航中、左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生していないか確認すること。

注 意

- a. 巡航中、左右燃量計指示器の指示差は、最大 1/2 を超えないこと。
- b. 左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生している場合、着陸後、SERVICE MANUAL に従い燃料系統を点検すること。

燃料切替弁装置を装備した機体の場合、巡航中は、左右の燃料タンク残量の差があまり大きくなりすぎないように、燃料切替弁を切替えること。目安としては 1/4 以下でよい。

燃料切替弁を操作する前には、補助燃料ポンプ・スイッチを“ON”とし、切替後、燃圧を確認して“OFF”とする。

又、巡航中、燃圧の振幅が 0.5 psi 以上になったときは、補助燃料ポンプ・スイッチを“ON”にすること。



1-14 着陸

- (1) 最終進入旋回までは、フラップ“15°”、90 mph (78 kt) IAS に保つ。
- (2) 最終進入旋回後 80 mph (70 kt) IAS で進入、通常の着陸では、フラップを“35°”まで下げる（状況により、使用するフラップ角度は異なる）。

1-15 着陸復行

- (1) スロットル・レバー Full OPEN
- (2) 昇降舵トリム 調節
- (3) *方向舵トリム R
- (4) フラップ 静かに“15°”にセット
- (5) 速度 70 mph (61 kt) IAS に加速する。
- (6) 安全高度に達したら、静かにフラップを上げ、最良上昇率速度（全備重量で 82 mph/71 kt IAS）に保ち、トリムを調節する。

1-16 着陸後点検

- (1) フラップ 0°
- (2) 補助燃料ポンプ・スイッチ OFF
- (3) 昇降舵トリム 中立
- (4) *方向舵トリム L
- (5) *ケージ機構のある水平儀、定針儀 ケージする

燃料開閉弁を装備した機体の場合、巡航中、左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生していたか確認すること。

注 意

左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生している場合、着陸後、SERVICE MANUAL に従い燃料系統を点検すること。

1-17 停止

前輪を真すぐになるように停止し、次の手順を行なう。

- (1) パーキング・ブレーキ LOCK



- (2) 点火スイッチ点検 Engine idle で実施
- (3) エンジン計器 指度点検
- (4) *無線機スイッチ OFF
- (5) ミクスチュア・レバー IDLE CUT OFF
- (6) スロットル・レバー CLOSED (プロペラ停止後)
- (7) 点火スイッチ OFF
- (8) 総てのスイッチ OFF
- (9) 燃料開閉弁 (装備機のみ) OFF
又は燃料切替弁 (装備機のみ) OFF

1-18 機体を離れる前に

- (1) 必要に応じて、操縦輪をロックする。
- (2) チョークをかける。
- (3) パーキング・ブレーキを解除する。
- (4) ピトー・カバーを付ける。

2. 異状発生時の取扱方法

2-1 エンジン故障

2-1-1 離陸滑走中

離陸滑走中にエンジンが故障した場合には、直ちにスロットル・レバー を“CLOSED”とし、ブレーキをかける。

前方滑走路に、飛行機の止まる余裕がないときには、次の操作を行なう。

- (1) ミクスチュア・レバー IDLE CUT OFF
- (2) 燃料開閉弁 (装備機のみ) OFF
又は燃料切替弁 (装備機のみ) OFF
- (3) 点火スイッチ、マスター・スイッチ 時間が許せば OFF
- (4) 障害物を避けて停止し、直ちに降りる。

2-1-2 飛行機が浮揚した後、エンジンに故障を起し、前方滑走路に余地がないとき

失速しないように速度を保持し、直進して不時着地をさがす。低高度での旋回はできるだけ避けた方がよい。

状況に応じて、フラップを使用する。



第 本 F - 2 0 1 6 - 0 6 0 号

飛行規程承認書

航空機	種 類	飛 行 機		
	型 式 及 び 製 造 者	富士重工式 F A - 2 0 0 - 1 8 0 型 富士重工業株式会社		
	国籍記号及び登録記号	J A	製造番号	
	型式証明書番号	第 2 2 - 1 4 号		
	耐空証明書番号 及び有効期間	平成 年 月 日から平成 年 月 日まで		
飛行規程	作成管理者	富士重工業株式会社		
	作成管理者による種類	<input checked="" type="checkbox"/> T C <input type="checkbox"/> 原 <input type="checkbox"/> 個別 <input type="checkbox"/> S T C		
	構成による区分	<input checked="" type="checkbox"/> 基本 改訂 2 0 <input type="checkbox"/> 追加 (表題:)		
	承認事由	<input type="checkbox"/> 型式証明 <input checked="" type="checkbox"/> 型式設計変更 <input type="checkbox"/> 追加型式設計承認 <input type="checkbox"/> 追加型式設計変更承認 <input type="checkbox"/> 耐空証明 (新規) <input type="checkbox"/> 耐空証明 (更新) <input type="checkbox"/> 修理改造検査 <input type="checkbox"/> その他		

上記の航空機の飛行規程について承認する。

航空局安全部
航空機安全課長



承認年月日 平成 2 8 年 5 月 3 0 日



富士重工式 FA-200-180 型
平成 28 年 5 月 30 日

頁 一 覧 表

製造番号 FA-200-12 以降に適用

頁	年 月 日		頁	年 月 日		頁	年 月 日	
I	H28. 5. 30	対象外	21	H28. 5. 30		50	H23. 7. 22	対象外
II	H25. 6. 3	対象外	22	H23. 7. 22		51	H23. 7. 22	対象外
III	H28. 5. 30	対象外	23	H28. 5. 30		52	H23. 7. 22	対象外
IV	H23. 7. 22	対象外	24	H23. 7. 22		53	H23. 7. 22	対象外
V	H23. 7. 22	対象外	25	H23. 7. 22		54	H23. 7. 22	対象外
VI	H23. 7. 22	対象外	26	H23. 7. 22		55	H23. 7. 22	対象外
VII	H23. 7. 22	対象外	27	H23. 7. 22		56	H23. 7. 22	対象外
VIII	H23. 7. 22	対象外	28	H23. 7. 22		57	H23. 7. 22	対象外
			29	H23. 7. 22		58	H23. 7. 22	対象外
			30	H23. 7. 22		59	H23. 7. 22	対象外
1	H27. 5. 7		31	H23. 7. 22		60	H23. 7. 22	対象外
2	H23. 7. 22		32	H23. 7. 22				
3	H23. 7. 22		33	H23. 7. 22				
4	H23. 7. 22		34	H23. 7. 22	対象外			
5	H23. 7. 22		35	H23. 7. 22	対象外			
6	H23. 7. 22		36	H23. 7. 22	対象外			
7	H23. 7. 22		37	H23. 7. 22	対象外			
8	H23. 7. 22		38	H23. 7. 22	対象外			
9	H23. 7. 22		39	H23. 7. 22	対象外			
10	H23. 7. 22		40	H23. 7. 22	対象外			
11	H23. 7. 22		41	H23. 7. 22	対象外			
12	H23. 7. 22		42	H23. 7. 22	対象外			
13	H23. 7. 22		43	H23. 7. 22	対象外			
14	H23. 7. 22		44	H25. 6. 3	対象外			
15	H23. 7. 22		44A	H25. 6. 3	対象外			
16	H23. 7. 22		45	H23. 7. 22	対象外			
17	H28. 5. 30		46	H27. 5. 7	対象外			
18	H23. 7. 22		47	H23. 7. 22	対象外			
19	H23. 7. 22		48	H23. 7. 22	対象外			
20	H28. 5. 30		49	H23. 7. 22	対象外			



富士重工式 FA-200-180 型
平成 28 年 5 月 30 日

変更状況表 (続き)

製造番号 FA-200-12 以降に適用

改訂番号	日付	改訂頁	内容
改訂 16	H22. 1. 13	I、II、III、III-1、IV、3、4、4-1、5、6、7、8、9、15、42、42-1、42-3	承認番号 第 22-10-A4 号による。 (1) 磁石発電機の追加 承認番号 第 22-10-A5 号による。 (1) 承認頁一覧表を局承認対象外とする。 (2) 承認頁一覧表から局承認印欄を削除する。 (3) VHF COMM/NAV 無線機の追加 (4) 荷物室内の荷物固縛指示明確化 (5) 誤記及び漏記の訂正 (6) 限界事項の記載内容統一
改訂 17	H23. 7. 22	全頁	承認番号 第 22-10-A6 号による。 (1) サーキュラー No. 1-001 (国空機第 723 号 H20. 10. 31 付) に基づく体裁変更 (2) 用語の適正化 (3) 誤記及び漏記の訂正
改訂 18	H25. 6. 3	I、II、III、44、44A	型式証明番号 第 22-12 号による。 (1) Lycoming 社製オルタネーター追加
改訂 19	H27. 5. 7	I、III、1、46	型式証明番号 第 22-13 号による。 (1) プロペラ部品番号追加
改訂 20	H28. 5. 30	I、III、17、20、21、23	型式証明番号 第 22-14 号による。 (1) エンジン始動手順の訂正 (2) 燃料片減りに関する注意明確化



4-3 エンジン始動

始動前、プロペラ回転面近くに障害物の無いことを確認する。

- (1) パーキング・ブレーキ LOCK
- (2) 燃料開閉弁 (装備機のみ) ON
又は燃料切替弁 (装備機のみ) “LEFT” 又は “RIGHT”
(残燃料の多い方のタンクへ)
- (3) 総てのスイッチ OFF
- (4) オルタネート・エア・ノブ 一杯に押し込む
- (5) ミクスチュア・レバー IDLE CUT OFF
- (6) スロットル・レバー 目盛約 1 まで開く
- (7) ピッチ・レバー “INC” 一杯に押す
- (8) マスター・スイッチ ON
- (9) 補助燃料ポンプ・スイッチ ON (燃圧上昇を確認)
- (10) ミクスチュア・レバー RICH にして 1~2 秒保持し、IDLE CUT OFF に戻す
- (11) 点火スイッチ BOTH
- (12) スタータ・スイッチ START PUSH
- (13) ミクスチュア・レバー 始動したら、ゆっくりと RICH にする
- (14) 補助燃料ポンプ・スイッチ OFF (燃圧を確認)

4-4 暖機運転

- (1) 油圧の上昇を確認する。同時にスロットルを調節してエンジン回転数を約 900~1000 rpm にセット、エンジン始動後 30 秒以内に油圧が 25 psi に達しない場合はエンジンを停止し、点検する。
- (2) 油圧上昇確認後、エンジン回転数を 1000~1200 rpm にセットして暖機運転を行なう。
- (3) エンジン計器 指度点検
- (4) *無線機スイッチ ON
- (5) 点火スイッチ点検
エンジン回転数をアイドルに保ち、点火スイッチを瞬間的に “OFF” とし、発火が一時的に止まることを確認した後、素早く “BOTH” へもどす。
- (6) フラップ 作動点検
(点検後 “0°” に戻す)
- (7) アイドル点検 650~750 rpm の範囲にあること。
- (8) 燃料切替弁 (装備機のみ) 他のタンクへ切替



4-9 巡航

巡航速度は機体の重量、飛行高度、大気温度、飛行距離及びパワー・セッティングにより選択することができる。

普通、使用される巡航出力の範囲は 50~75 %である。

巡航性能の詳細については P28~29 を参照のこと。

出力を増す場合は、ミクスチュア・レバーを一度“RICH”に戻してから、ピッチ・レバーにより回転を増し、続いてスロットル・レバーにより吸気圧力を増す。

出力を減ずる場合は、スロットル・レバーにより吸気圧力を求める値にセットし、続いてピッチ・レバーにより回転を減ずる。

注 意

1800 rpm 以下での最大出力運転はしないこと。

ミクスチュア・レバーの使用は、燃料消費量に大きく影響する。

5000 ft 以上の高度で 75 %以下の出力による飛行を行なう場合には、“LEAN”に調整する。ミクスチュア・レバーの使用により、最良出力を得るには、ミクスチュア・レバーを徐々に引き、エンジン回転数がわずかに上昇して、次に下り始めたら、最大回転の得られた位置までレバーを戻す。

同様な方法で最も燃費の少ないレバー位置を得るには、ミクスチュア・レバーを徐々に引き、エンジン運転がラフになったら、そのラフが無くなるまでレバーを戻す。

エア・フィルタの凍結によりエンジンの息つきが生じたと思われる時は、オルタネート・エア・ノブを引くこと。

燃料開閉弁を装備した機体の場合、巡航中、左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生していないか確認すること。

注 意

- a. 巡航中、左右燃量計指示器の指示差は、最大 1/2 を超えないこと。
- b. 左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生している場合、着陸後、SERVICE MANUAL に従い燃料系統を点検すること。



燃料切替弁装置を装備した機体の場合、巡航中は、左右の燃料タンク残量の差があまり大きくなならないよう、燃料切替弁を切替えること。目安としては 1/4 以下でよい。

燃料切替弁を操作する前には、補助燃料ポンプ・スイッチを“ON”とし、切替後、燃圧を確認して“OFF”とする。

又、巡航中、燃圧の振幅が最小 14 psi 最大 45 psi の計器使用の場合で 2 psi 以上、最小 0 psi 最大 10 psi の計器使用の場合で 1 psi 以上になった時は、補助燃料ポンプ・スイッチを“ON”にすること。

4-10 曲技

- (1) 補助燃料ポンプ・スイッチを“ON”にする。
- (2) 燃料切替弁を“LEFT”にする。(装備機のみ)
- (3) 安全開始速度は、飛行規程 2-7-2 又は機内のプラカードを参照のこと。
- (4) 曲技の実施要領は別添 E「曲技飛行要領」参照のこと。

注 意

- a. 曲技中、エンジンの回転数が 2700 rpm を越えないように注意すること。
- b. 背面飛行は禁止されている。承認された曲技を行なう場合もマイナス G にならないよう注意すること。
- c. ケージ機構のある水平儀、定針儀が装備されている場合は曲技開始前に必ずケージする。

4-11 失速

- (1) 失速特性はフラップ上げ、下げ及びパワーオン、オフ共に良好である。
- (2) 失速警報装置は、実際の失速よりも 5~10 mph (4~9 kt) 速い速度で作動する。

4-12 降下

- (1) ミクスチュア・レバーを“RICH”にする。
- (2) 降下は、エンジンが過冷却にならないよう注意すること。

注 意

フル操舵によるスリップ降下を連続して行なう場合は、補助燃料ポンプ・スイッチ“ON”とし、極力上部翼側の燃料タンクを使用すること。



燃料開閉弁を装備した機体の場合、巡航中、左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生していたか確認すること。

注 意

左右燃量計指示器の指示差が 1/4 を超える燃料の片減りが発生している場合、着陸後、SERVICE MANUAL に従い燃料系統を点検すること。

4-17 停止

前輪を真すぐになるように停止し、次の手順を行なう。

- | | | |
|-------------------|-------|------------------|
| (1) パーキング・ブレーキ | | LOCK |
| (2) 点火スイッチ点検 | | Engine idle で実施 |
| (3) エンジン計器 | | 指度点検 |
| (4) *無線機スイッチ | | OFF |
| (5) ミクスチュア・レバー | | IDLE CUT OFF |
| (6) スロットル・レバー | | CLOSED (プロペラ停止後) |
| (7) 点火スイッチ | | OFF |
| (8) 総てのスイッチ | | OFF |
| (9) 燃料開閉弁 (装備機のみ) | | OFF |
| 又は燃料切替弁 (装備機のみ) | | OFF |

4-18 機体を離れる前に

- (1) 必要に応じて、操縦輪をロックする。
- (2) チョークをかける。
- (3) パーキング・ブレーキを解除する。
- (4) ピトー・カバーを付ける。